



IRIS LED LIGHTS

LED照明をはじめビジネスにかかわる旬の情報をお届けします

Information

2022.2

Vol.23

はじまる。進む。変わる時。
2022

[TOP MESSAGE]

ポストコロナを見据え、
新たな「アイデア」で
需要創造に取り組みます。

アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役 社長 大山晃弘

[SPECIAL REPORT]

洛北の自然と伝統美が織りなす
至高のラグジュアリーリゾート

ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts 様(京都府)

IRIS OHYAMA

バックナンバーは
こちら



表紙写真：ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts 様(京都府)

01 光のある風景
「銀山温泉」

02 TOP MESSAGE

アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役 社長
大山 晃弘
ポストコロナを見据え、新たな「アイデア」で
需要創造に取り組みます。

03 SPECIAL REPORT

ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts 様(京都府)
洛北の自然と伝統美が織りなす
至高のラグジュアリーリゾート

07 NEW PRODUCTS & TOPICS

■ 大容量の料理運搬を行う配膳ロボット
「Keenbot アイリスエディション」を発売

08 INTERVIEW

シンガポール・シーフード・リパブリック東京 様(東京都)
広い店内で大容量の配膳・運搬を行う救世主

09 NEXT ERA of Business

深刻化する人材不足を飲食DXが変える未来
株式会社ケイノーツ 代表取締役
ホットベッパバーグルメ外食総研・研究員 竹田 クニ

10 いまさら聞けない! ビジネス用語

「カーボンニュートラル」
温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡をとること

11 NEW PRODUCTS & TOPICS

■ 「LED交換キット」が2021年度省エネ大賞を受賞
■ 新しい安全規格に適合した直管LED照明を発売
■ 「AI商品情報検索サービス」を開始

13 NEW PRODUCTS & TOPICS

■ 太陽光発電型セキュリティカメラ

14 IRIS CHITOSE News!

お客さま事例
コミュニケーションの掛け算を生む空間づくり
村田機械株式会社 東京支社 様(東京都)



光のある風景 vol.13
「銀山温泉」

銀山温泉は山形県の山間部にある温泉地。銀採掘で栄えた江戸時代に発見された温泉が始まりとされています。銀山温泉の魅力は大正ロマンあふれる街並み。大正～昭和初期に建てられた重厚な木造多層建築の旅館が今なお立ち並んでおり、まるで昔の日本にタイムスリップしたかのような景観を味わうことができます。銀山温泉が特に美しくなるのが冬の夜です。雪で彩られた街並みにやわらかなガス灯に明かりが輝き、一層ノスタルジックで幻想的な光景を見ることができます。

銀山温泉

【所在地】 山形県尾花沢市銀山
【アクセス】 JR山形新幹線：大石田駅からバスで40分(銀山温泉行き乗車、終点下車)
東北自動車道：古川ICから車で1時間15分

ポストコロナを見据え、 新たな「アイデア」で 需要創造に取り組みます。

アイリスオーヤマ株式会社
代表取締役 社長

大山 晃弘

アイラブ アイデア



アイリスオーヤマは、昨年末にコーポレートメッセージ『アイ ラブ アイデア』を定めました。私たちが長年育んできた「アイデア」のある商品を通じてお客さまや企業の皆さまに快適と便利を提供する企業姿勢を、コーポレートメッセージという形で明文化しました。『アイ ラブ アイデア』というスローガンのもと、アイデアの力を信じ、アイデアによって社会はより良くなれるという信念を持ち、常に新たなアイデアを皆さまにお届けできるよう努めてまいります。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の経済や生活への影響は、少なくとも今年前半までは続くと思われます。この状況下においても、アイリスオーヤマはおかげさまで売り上げを伸ばすことができました。これは当社がポリシーとする「変化はチャンス」のもと、コロナ禍での巣ごもり需要や、マスク、AIサーマルカメラをはじめとする感染対策商品の製造・販売などにいち早く対応することで、お客さまが求めるニーズに会社として応えることができた結果だと考えます。今年におきましても、当社ならではのアイデアでコロナ禍やその他の社会課題の解決に取り組んでまいります。

法人向け事業では、業務用ロボットを扱うロボティクス事業を中核事業として本格的に展開してまいります。労働力不足はポストコロナで加速すると考えられ、働き方改革や環境問題などの課題と並び、日本が抱える喫緊の課題の一つです。ロボットが人と協働することで、労働力の確保や人にしかできない業務の質向上、経営コスト削減など、多くの業界でビジネスに貢献できると考えております。

また、国を挙げて取り組む脱炭素社会の実現に向けて、高効率LED照明やさらなる省エネを実現する無線制御システムの普及拡大、製造時や輸送時のCO₂排出量削減を目指した建築資材の開発、製造現場の低エネルギー化など、さまざまな取り組みによって環境に配慮したもののづくりに挑戦しています。ほかにも、無線制御システムを活用したIoTサービスによる省力化、AI技術や顔認証ソリューションの提供による管理業務のDX化などを通じて、ビジネスが抱えるさまざまな課題の解決をお手伝いしてまいります。

おかげさまで、この数年間で当社の知名度は向上し、企業としてのブランド価値を向上させることができました。人材採用の面では就職人気企業ランキングで上位

30社に入ることができ、過去最高の採用人数の目処が立っております。また、国内外での積極的な設備投資を行い、昨年10月には研究開発力の強化を目的に「東京 R&Dセンター」を開設し、家電・IoTを中心とした事業拡大に対応する開発体制を強化しました。さらに国内10工場目となる岡山瀬戸内工場*の新設を決定するなど、生産力強化にも取り組みます。

そして、東日本大震災から10年を越え、さらなる復興支援を行うため、福島県での農業支援や、今年4月から稼働を予定している南相馬市での新工場建設など、被災地域の支援活動にも力を注いでおります。

変異株の流行を繰り返す新型コロナ感染が今後どうなるかは予測が付きません。ただし、ウィズコロナからポストコロナへと移行する中で、消費活動や働き方、生活様式など多くの面で社会が変容し、新たなニーズが生まれるのではないのでしょうか。アイリスオーヤマではこの大きな社会変化をチャンスととらえ、アイデアと変化対応の力で、多くの皆さまの想いに応えてまいります。

※2025年10月竣工予定



ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts 様(京都府)

洛北の自然と伝統美が織りなす 至高のラグジュアリーリゾート

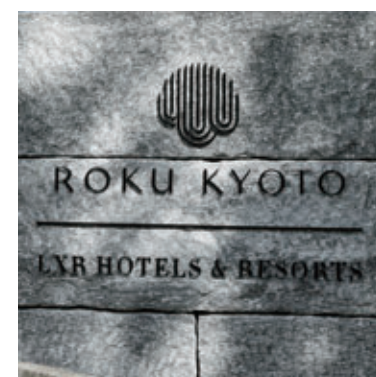
静謐な空気が漂うアライバル棟。和の伝統的な陰影を活かした間接照明と行灯風照明がゲストをもてなします。

雄大な自然に深く潜り 悠久の京都に出会う

京都市郊外に2021年9月に開業した「ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts」様は、ヒルトングループ最上級ブランド「LXR Hotels & Resorts」の名を冠するアジア初のラグジュアリーホテルです。琳派の創設者・本阿弥光悦が

弟子や職人とともに創作活動を行い、芸術村を築き上げたと言われる鷹峯三山の麓に建てられています。「Dive into Kyoto」をコンセプトに、国内外のゲストにこの土地ならではの自然や歴史、文化に触れながら、まだ知られていない京都の奥深い魅力を発見し、ゆったりとくつろいでいただけるような工夫がふんだんに設えられています。

周囲の山々に溶け込むような外観を持ち、インテリアは芸術村から着想を得た「アーティスト レジデンス」というコンセプトで建てられました。漆や竹など京都で培われた伝統工芸を取り入れ、自然をイメージした現代アートワークも随所に展示されており、この土地の芸術性に浸ることができます。



ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts 様

〔所在地〕京都市北区衣笠鏡石町44-1
〔建築主〕東急不動産 株式会社
〔設計・監理〕株式会社 東急設計コンサルタント
〔施工〕株式会社 竹中工務店

■ 建築概要

〔敷地面積〕40,360.72㎡(既存施設敷地を含む)
〔延床面積〕12,378.02㎡
〔構造規模〕RC造一部木造及びS造 地下1階、地上4階



木材と切妻天井で構成されたアライバル棟のレセプションエリア。この地に培われた歴史を漆を用いて現代的に解釈した作品群が、優しい木の香りとともに深く心に刻まれます。

建築やアート、 景観に調和する光の演出

まず、ホテルに到着したゲストを迎えるのはアライバル棟です。照明は和の雰囲気を引き立てるよう行灯や間接照明など、伝統的な素材を組み合わせた間接光を用い、和の独特な陰影を活かした光の演出を採用。日本の文化を彷彿させ、滞在

への期待が膨らみます。レセプション、ティーハウスには建築意匠に使用されている木の香りが漂い、到着した安心感も相まって心が安らぎます。また、窓から見える周囲の山々の景色をそのままに取り込んだ中庭空間が、館内にいながらこの土地の自然を体感させてくれます。室内には雲や稲妻、水面の揺らぎなど自然の美を漆の技法で表現したインテリアや調度

品が展示されています。作品に合わせて配灯されたスポットライトやピクチャーライトが作品の存在感と質感を際立たせ、空間全体に彩りを添えます。ゲストは京都の伝統や文化に知識を深めながら、ゆったりとくつろぎの時間を過ごせます。

アライバル棟と客室棟の間に広がる水盤はホテルを代表する空間の一つで、灯籠や北山杉が配された浮島と周辺の鷹峯の風景を写し込みます。周囲の自然とホテルとをゆるやかにつなぎ、屋内外の境界をなくす役割を担います。夜には建物や灯籠から漏れる照明が重なる水鏡となり、幽玄な雰囲気演出。非日常の世界観と静寂に包まれます。

施設全体の照明の明るさは時間帯に合わせて調光され、日の移ろいとともに表情を変える景観と優雅な滞在を楽しめるよう配慮されています。



浮島が配された水盤とレストラン棟。水の揺らぎによる癒しの狙いもあり、ゲストのはのびのびと滞在を楽しむことができます。

繊細な造形美と京の息吹が宿る空間を 照明が引き立たせる

伝統の継承と進化を 照らし見守る

レストラン「TENJIN」では、「自然・芸術・料理」をモチーフに、本阿弥光悦の琳派から着想を得た独自の盛り付け技法と、自家栽培したハーブや地元の食材を活かしたフレンチ料理を堪能できます。店内は竹細工をテーマに、竹の持つしなやかさや繊細さを活かしたアートワークや空間意匠が配され、軽やかな気持ちで食事を楽しむことができます。

空間の中でひととき目を引くのが、オープンキッチンの天井に吊るされた和傘照明です。実際の和傘を模した繊細な構造に、貼り合わされた和紙から漏れる温かみのある光を感じながら、創造性に富む料理を楽しむことができます。和傘照明の最下部には小口径のダウンライトを取り付けており、シェフの手元の明るさを確保します。

店内全体には間接照明が採用されており、天井をやわらかく灯す光のラインが奥行きを感じさせ、開放的な空間を演出します。

敷地内を流れる天神川のせせらぎが聴こえる落ち着いた雰囲気の中、鷹峯の土地ならではのストーリーが刻まれたドラマチックな料理の味わいとともにより五感が刺激され、充実した時間を過ごせます。

くつろぎの空間を しずかに灯し出す

5タイプ・全114室からなるゲストルームはひろびろとスペースが取られており、心地良く羽を伸ばすことができます。大窓から鷹峯の景色を一望でき、窓際のソファで思い思いのひとときを過ごせます。

室内でゆっくりとくつろいだり、景色を楽しんだりすることの妨げとならないよう、照明には光源のまぶしさ（グレア）と器具

の存在感を最小限に抑えたピンホールユニバーサルダウンライトが採用されました。

客室棟のインテリアのテーマは唐紙。共用部とゲストルームの壁面には同じ柄の唐紙文様が使われており、一体感のある雰囲気居心地の良さを感じさせます。室内の随所に飾られた西陣織の作品や陶器などの調度品を間接照明が照らし、日本の素材が持つ魅力と職人技の巧妙さを引き立てています。客室でも日本の文化や伝統に触れることができ、このホテルでの滞在をより特別なものにしてくれます。

アイリスオーヤマではそれぞれの空間意匠に沿ってLED照明器具を開発・納入しました。日本の文化や京都の伝統工芸を現代風に解釈したインテリアと鷹峯の自然に調和し、静けさのなか過ごせることを考えた照明を通じて「ROKU KYOTO, LXR Hotels & Resorts」様の開設に携わりました。



和傘をモチーフにした照明が象徴的なレストラン「TENJIN」のシェフズテーブル。「琳派リフレクション」をテーマに、地元の食材や器、盛り付けにもこだわったフレンチを堪能できます。

Photo: Jimmy Cohrsen



1 アイリスオーヤマはベース照明や間接照明のほか、ヘッドボード照明やベッドサイド照明の開発も担当。2 洗面台のミラー照明は身支度に合わせて光の方向を調整できる角度可変式に。3 ホテル北側に位置する「THE ROKU SPA」の屋外サマープール。夜には周辺の景観と照明が織りなす雰囲気により、リラックスした気持ちに。

NEW
PRODUCT

大容量の料理運搬を行う配膳ロボット 「Keenbot アイリスエディション」を発売



配膳の自動化で 接客サービスを向上

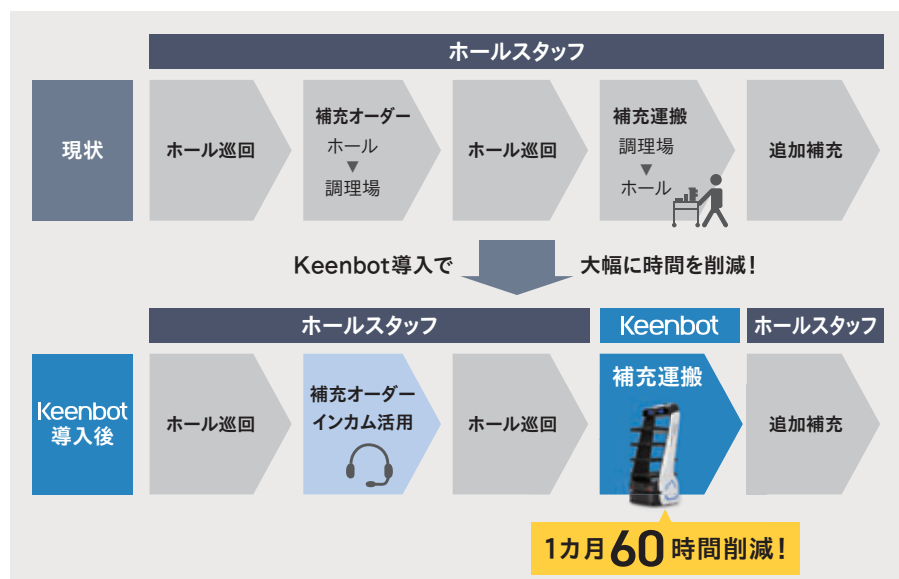
アイリスオーヤマは2月から配膳・運搬ロボット「Keenbot(キーンボット) アイリスエディション」の販売を開始します。飲食業・宿泊業では労働人口減少による従業員不足やコロナ禍の影響による非接触での接客ニーズ、経営コスト削減など、配膳・運搬ロボットへのニーズが高まっています。

当社では、これまで小回りが利き小規模の飲食店やホテルに適したServi アイリスエディションを販売してきました。今回、配膳・運搬ロボットのラインナップに、一度に合計40キロの重さまで運べるKeenbot アイリスエディションを加えることで、面積の広いホテルやレストランなど、より多様なシーンに配膳・運搬ロボットを提供します。人との協働によって労働力確保や接客サービスの向上、コスト削減などさまざまな課題解決をサポートしてまいります。

詳しい記事はこちらから
ご覧いただけます
▶ Keenbot 特設サイト



こんなシーンでおすすめ



※上記の導入効果データはアイリスオーヤマが実施した実証実験結果によるものです。

シンガポール・シーフード・リパブリック東京 様(東京都)

広い店内で大容量の配膳・運搬を行う救世主



シンガポール・シーフード・リパブリック東京 様
東京都港区の「アトレ竹芝」3Fにある、都心にいながらも浜離宮恩賜庭園の緑と水辺を身近に感じられるシーフードレストラン「シンガポール・シーフード・リパブリック東京」。店内からは東京のベイエリアを臨み、開放的なテラス席がリゾート地を彷彿とさせます。開放的な景色とともに優雅な時間を過ごすことができます。

大容量の料理や食器が運べる「Keenbot(キーンボット) アイリスエディション」の実証実験事例をご紹介します。店舗面積の広いシンガポール・シーフード・リパブリック東京 様では、料理の配膳にスタッフが長い距離を往復しなければならないのが課題でした。Keenbot導入の結果、どのような効果があったのか、お話を伺いました。

【お話を伺った方】
株式会社M・R・S FE事業部 事業部長
田中 潤一 様
シンガポール・シーフード・リパブリック東京
マネージャー
杉田 美和子 様

「大容量4段トレイ」が 決め手

— Keenbotを導入された決め手はなんですか？

田中様 配膳ロボットは複数あることを知っていましたが、Keenbotは最大4段のトレイがあり大容量を運搬できる点を高く評価しました。この大きさであれば下げ膳で使う番重(ばんじゅう)を載せることができ、活用できると確信したんです。それから、音がとても静かな点も決め手となりました。

スタッフ1名相当の コスト適正化も視野に

— 導入されて変わったこと、良かったことはありますか？

杉田様 デシャップからホールまでの長距離運搬をKeenbotに任せることで、スタッフの負担を大幅に減らすことができました。さらにスタッフのホール滞在時間が増えたことにより、お客さまへのサービス提供の質が向上したと感じています。

下げ膳においても、一度に大量の運搬ができるようになり、スピードが上がりました。配膳や下げ膳だけでなく、入荷したばかりの飲料や洗いあがったグラスの運搬などにも活用しており、さまざまな面でスタッフの負担軽減が図られています。



スタッフはお客さまへのサービス提供に注力。

田中様 実は検討当初は「ロボットを入れるのはどうか」「お客さんの反応はどうだろうか」「導入しても意味がないのではないか」というスタッフからの不安な声もありました。しかしながら、事前に試験的に導入したことでスタッフの意見が180度変わり、スタッフみんながKeenbotの利便性に気づいてくれました。

とにかく、ホールとデシャップとの行き来の数が少なくなりました。当店は劇場に近いこともあり、週末は非常に賑わいます。これまでは10名程度のスタッフが必要でしたが、Keenbotを導入してから1カ月で、1名相当のコスト適正化が可能な段階まで来ました。これは月12万円程度のコスト改善につながります。

これからもKeenbotを活用することで、質の高いサービス提供とコストコントロールを行っていきたいと考えております。

詳しい記事は
こちらからご覧いただけます
▼ ロボティクス事例ページ



深刻化する人材不足を飲食DXが変える未来

「人とロボットのチームワーク」による顧客、従業員にとっての価値向上

株式会社ケイノーツ 代表取締役
ホットペッパーグルメ外食総研・研究員 竹田 クニ

人材不足が投げかける新たな経営イノベーションの必要性

2021年10月、飲食店の営業再開と同時に待っていたのは「人材不足」の再燃。時給相場が上昇するばかりでなく、「時給を高くしても応募が集まらない」という事態は経営者の想定を超えたものとなりました。

こうした環境変化に対しては、「省人化」と呼ばれる飲食店の労働集約的業務をサポートするテクノロジー活用が必要かつ有効であることは間違いありませんが、単にロボットやITが「人の代わりに作業を行う」という目的ではなく、「人とテクノロジーがいかに協働していくか?」ということが、外食産業が再興するために必須のイノベーションといえます。

本コラムでは、人の代替だけでないテクノロジー活用の在り方について考えてみたいと思います。

CX顧客体験価値と並んで重要な「EX従業員体験価値」とは何か?

CX顧客体験価値と並び重要な視点としてEX従業員体験価値が挙げられます。テクノロジーを活用することによって、人が労働集約的・作業的業務から解放され、「人がやるべき仕事」「人でこそやるべきクリエイティブな仕事」に集中することは、従業員がそこで働く意味やモチベーションに大きく影響します。

例えば、配膳・下膳や注文を受ける業務・作業“そのもの”が好きな人は稀でしょう。飲食店のホールスタッフの仕事のやりがいや手ごたえとは、料理・ドリンクのおすすめやアドバイスによってお客様から頂ける「ありがとう」「笑顔」「常連のお客様との会話」などにあるはずです。

フレームを使って整理してみると、「働く」ことにおける「基礎的な価値」は給与や勤務条件、職場の基本的な人間関係が決まります。「付加的な価値」とは、働くことで得

られる成長感、自己効力感、貢献感。これはその職場で得られる体験としての価値であり、これこそがEX従業員体験価値を構成する要素なのです。

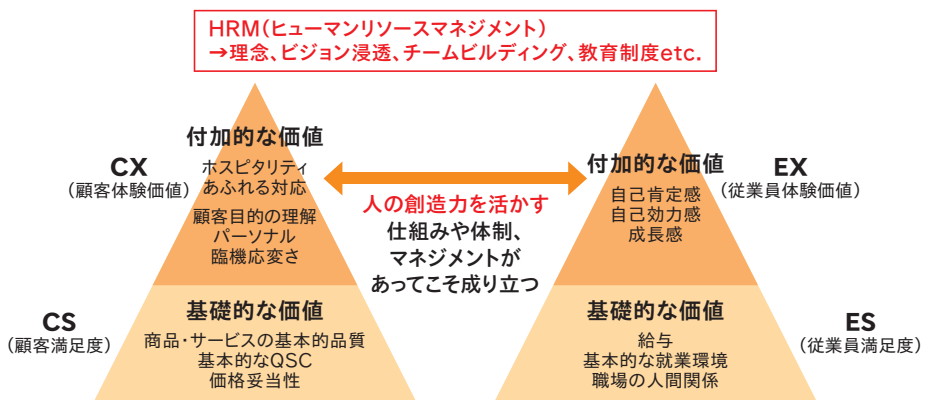


物語コーポレーション様が運営する「焼肉きんぐ」では、配膳ロボットやタブレットの導入により、スタッフが肉の焼き方アドバイスやメニュー説明など、お客様満足度を高める取り組みが行われている。

テクノロジー活用の目的は、こうした従業員体験価値を高める物心両面の取り組みを行うことにあり、そしてその目的を従業員が理解納得できる形で伝えると言うことが重要になると思います。EX従業員体験価値を高めていくことは、今後人材獲得がますます厳しくなる中、従業員の離職率低下と、採用力向上に繋がる重要な取り組みとなるのです。

他方、CXにおける付加的な価値は、従業員のコミュニケーション力、創造力、ヒューマンスキルによって支えられるものであり、これからの飲食店にHRM(ヒューマンリソースマネジメント)が重要と言われるのは、こうした考え方によるものです。

◆CX/EXの共通性 人でなければできない価値の提供



CX、EXを「足す」「増やす」ためにDXにどう取り組むか?

今、外食産業の最も重要なキーワードは「DX=デジタルトランスフォーメーション」といえますが、DXはあくまで手段であって、目的はCX、EXという価値の向上による「生産性向上」にあります。

一方、飲食店の価値は料理の味だけでなく、提供スピード、店や料理人のストーリー、空間、接客など業態やターゲット顧客によっても異なりますから、DXは「その店の価値のあり方」に合わせて選択するテクノロジーが変わってきます。

そのため、この「店の価値のあり方」を再定義することが今最も重要なことと考えます。人材不足がますます厳しくなる中…

- ・「ウチの店の価値とは?」を改めて定義
 - ・その価値を「足す」「増やす」ために
 - いかなるテクノロジーを活用すべきか?
 - ・人とテクノロジーがどういうチームワークで臨むことが価値の最大化に繋がるのか?
- という順序で考えることが大切ではないでしょうか。

危機から生まれた知恵と勇気が次の大きな進化と飛躍に繋がります。人類が幾度となく経験してきた苦難と発展のさ中に外食産業は今あるのだと思います。人とテクノロジーのチームワークは、外食産業の再興に繋がる大きな一歩となるに違いありません。



いまさら聞けない!

ビジネス用語

カーボンニュートラル

温室効果ガスの排出量と吸収量の均衡を取ること

CO₂排出量の抑制と吸収量の維持・強化がカギ

2020年10月、日本政府は2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

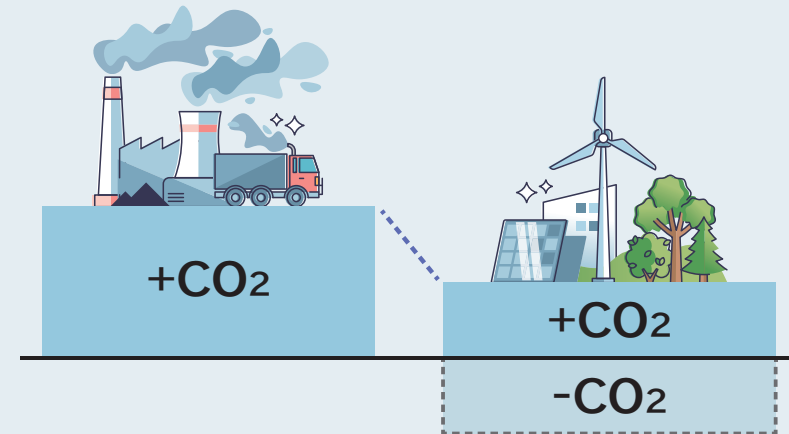
カーボンニュートラルとは、直訳するとカーボン(炭素)をニュートラル(中立)な状態にすることで、「温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする」ということを意味します。これは、二酸化炭素(CO₂)が大部分を占める温室効果ガスの排出量から森林などが吸収する量を差し引いて、合計を実質ゼロにするということです。温室効果ガスの排出量をゼロにすることは現実的には難しいため、全体としてゼロにするということです。カーボンニュートラル達成のためには、温室効果ガスの排出量を減らすとともに、植林や森林保全など吸収量を維持・強化することが必要です。

植物のCO₂吸収・固定を利用

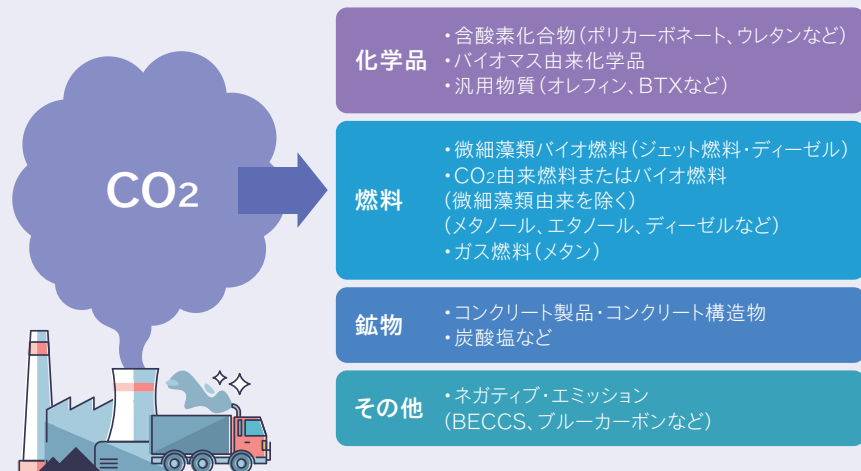
では、「吸収」とはどのような状態でしょうか。植物のからだは炭素原子から構成される有機化合物からできており、種から成長するときに光合成によって大気中のCO₂を取り込みます。植物内に取り込まれたCO₂は、炭素に変換され有機化合物を作り、植物のからだを成長させます。成長過程で吸収したCO₂を「吸収量」として、人間が排出した量とプラスマイナスゼロにしようというのがカーボンニュートラルの考え方です。

地中深くから採掘した化石燃料由来の製品は、廃棄や焼却時に炭素を地中に戻すことはできませんが、植物由来の製品は、もともと大気中に存在していた炭素を固定しているため、カーボンニュートラルに効果的です。近年、木造高層ビルなど木材の活用が注目されているのは、製造過程でのCO₂排出量が少ないことと木材によるCO₂の固定化にあります。

カーボンニュートラル=CO₂の排出量と吸収量を
プラスマイナスゼロに



カーボンリサイクル=CO₂を資源として再利用



出所:資源エネルギー庁「カーボンリサイクルについて」

CO₂を資源として再利用する「カーボンリサイクル」

CO₂を減らす取り組みとしては、炭素を資源として製品や燃料に再利用する「カーボンリサイクル」もあります。これは化学、機械、燃料などさまざまな分野で活用が期待される技術で、「カーボンニュートラル社会を実現するキーテクノロジー」とされています。コストや生産性などの課題はありますが、実現に向けた取り組みが始まっています。

アイリスオーヤマでは、LED照明事業と建材事業を通じて、CO₂削減を目指した製品開発を行っています。無線制御システムの普及による照明の省エネルギー化や、CO₂を固定した木材の使用、運搬時のCO₂を削減する軽量の商品の開発など、当社ならではのアイデアでカーボンリサイクルの実現に貢献してまいります。



既設の照明器具を活かしてLEDにリニューアル 「LED交換キット」が2021年度省エネ大賞を受賞



オフィス照明のLED化を後押し

省エネ性にすぐれた製品や事例に対して授与される2021年度省エネ大賞（主催：一般財団法人 省エネルギーセンター）で、当社の「LED交換キット」が製品・ビジネスモデル部門『資源エネルギー庁長官賞』を受賞しました。

オフィスビルの照明は多種多様な形状・サイズがあり、蛍光灯から照明器具ごと交換してLED化すると特注製作が必要になることが多く、LED照明の普及がなかなか進まないという課題がありました。

LED交換キットは、既設の蛍光灯照明器具の本体や反射笠などをそのまま活かし、光源部分のみを交換してLEDにリニューアルできる商品です。ラインナップはグリッド照明タイプと直管型ソケットレスタイプの2種類で、さまざまな形状の照明に対応できます。当社が事前調査から商品提案、器具勘合などの確認、施工、点検まで一貫してお請けする体制を整えており、お客さまの施設に合ったLED化を実現します。器具全体の交換に比べて低コストで導入でき、これまでLED化の進まなかった施設への普及を後押しします。

LED照明の普及により社会全体の省エネに寄与するとともに、既設器具を活かすことで省資材・廃棄物削減にも貢献します。今後も地球環境に配慮した製品開発で、省エネによるカーボンニュートラル社会の実現を目指します。

2021年度省エネ大賞受賞の詳細はこちらからご覧いただけます▶



LED交換キットの3つのポイント

1 導入コストを軽減

既設の照明器具を活かすことで製品コストを抑えます。また光源部分のみ交換するため、他の天井設備工事が不要となり、施工コストも削減できます。

2 省資源・廃棄資材削減

既設器具の金属部品をリサイクルして活用するため、約3～7.3kgの製造資材を削減※できます。また廃棄資材も減らせるため、環境負荷の軽減につながります。

※当社標準的器具で換算

3 無線制御に対応

ライコネックス
アイリスオーヤマの無線制御システム「LiCONEX」に対応。これまで無線制御ができなかった施設にも導入できます。状況に合わせて調光し、さらなる省エネを実現します。

【LED交換キットの仕組み】

既設の器具本体、反射板は残す

古い部品（ランプソケット、端子台）は取り外す



NEW
PRODUCT

蛍光灯からLEDへの安全な交換を目指し 新しい安全規格に適合した直管LED照明を発売

日本照明工業会の 安全規格に適合

AC直結G13口金直管LED光源安全規格（以下「JLMA301」）に適合した直管LED照明を発売します。

近年、工事不要で蛍光灯を交換するだけでLED化できる商品が市場に普及していますが、誤った使用による落下などの事故が発生しています。日本照明工業会はこのような事故を防ぐため、2020年に直管LED光源に対し安全規格「JLMA301」を制定しました。当社もこの規格に適合した直管LED照明を発売し、今後もさまざまなニーズに対応できるようラインナップを拡充していきます。

直管LED光源の安全規格について
詳しくはこちらから Webサイト▶



JLMA301適合光源で 安全にLED化！



アイリスオーヤマは、当規格に適合した直管LED光源に自主認証[Sマーク]を表示しています。



※設置イメージ

ECOHiLUX HE 160S

—high economy high efficiency—

導入しやすい
スタンダード
タイプ

ECOHiLUX HE 190S

—high economy high efficiency—

省エネ性能の
高い高効率
タイプ

ECOHiLUX HE S-GF

エコハイルクス

光の広がり
のあるガラス管
タイプ

NEW
SERVICE

スマートフォンで売場がすぐ見つかる 「AI商品情報検索サービス」を開始

QRコードからの検索で 売場をご案内

小売店舗対象サービスとして、スマートフォンでお客さまをお目当ての売場にご案内できる「AI商品情報検索サービス」を開始します。店頭に掲示しているQRコードを読み込み、商品名を入力するだけで売場が表示されます。

スタッフを探して声をかける手間が減るため、お客さまのストレスを解消しスムーズにお買い物を楽しんでいただけるようになります。店舗側にとっても売場案内の負担を減らせるほか、接触を避けた接客ニーズに応えることができるサービスです。

【お問い合わせ】

サイネージ事業部 TEL.03-5843-7747



NEW
PRODUCT

自然災害への迅速な対応を実現 太陽光発電型セキュリティカメラ

場所を選ばず設置可能 災害対策や防犯対策に最適

太陽光発電で駆動し、遠隔地の状況をリアルタイムに映像で確認できる「太陽光発電型セキュリティカメラ」を発売します。

集中豪雨などによる自然災害は近年増加傾向にあり、河川や道路の状況を確認するため現場に赴いた市民が川の氾濫や道路の崩落に巻き込まれるなどの事故も発生しています。地域の自治体や防災組織は土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域の状況を迅速に確認し、危険時には避難通知などを行う必要があります。

当社の「太陽光発電型セキュリティカメラ」は太陽光パネル発電とバッテリーで駆動するため、河川や山林などの電源が取れない場所にも設置が可能です。4G回線を利用したインターネット通信機能を搭載し、パソコンやタブレット端末などから河川の水位や土砂崩れ注意地点などをリアルタイムに確認できます。ネットワークを活かしたカメラソリューションで、有事における迅速な対応を可能にします。

[お問い合わせ]
AIカメラ事業部 TEL. 03-5843-7747

太陽光発電型セキュリティカメラについて
詳しくはこちら

Webサイト▶



配線不要なので場所を選ばずに設置できます

さまざまな重要観測地点



河川の水位確認



土砂崩れ注意地点の監視



海岸の状況監視



倒木の危険性がある道路



屋外駐車場



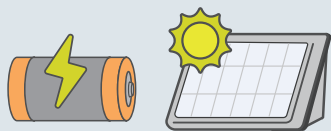
建設現場

太陽光発電型セキュリティカメラ 3つのポイント

POINT 01

フル充電で最大7日間のバッテリー駆動

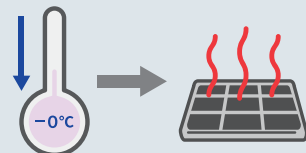
※24時間平均消費電力で駆動した場合



太陽光パネルと充電式リチウムイオン電池で駆動するので、電力配線、通信配線が不要です。

POINT 02

ヒーター搭載で寒冷地での結露を抑制



自動ヒーター搭載で、氷点下になるとヒーター稼働し、寒冷地での結露抑制につながります。

POINT 03

遠隔地からリアルタイムに映像を確認



本体に通信SIMを搭載することで、遠隔地からパソコンやスマートフォン、タブレットなどでリアルタイムに映像を確認できます。

※別途SIMの月額料金が発生します。詳しくはお問い合わせください。

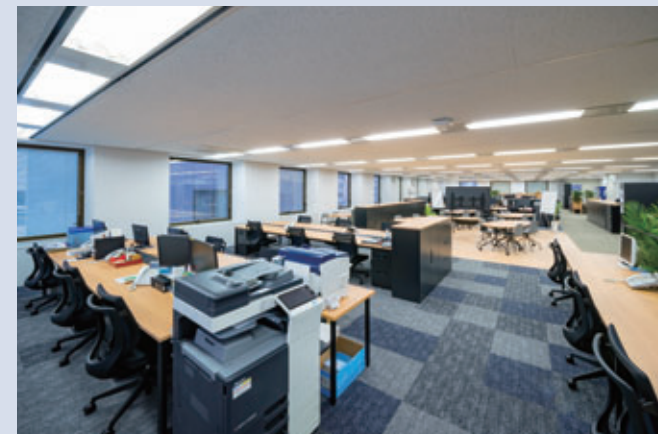


お客さま事例

コミュニケーションの掛け算を 生む空間づくり

村田機械株式会社 東京支社 様(東京都)

村田機械株式会社 様の東京支社はフリーアドレスを導入した新しいオフィスに生まれ変わりました。アイリスチトセが内装デザインや施工などを行った改修プロジェクトをご紹介します。



オフィス改修のきっかけ

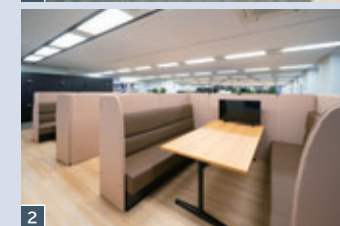
当初は在籍社員の増加に伴い「オフィスが手狭になってきた」ことがきっかけで移転を計画していました。しかし検討している間にコロナ禍になり、在宅勤務社員が増えたことや、もともと在籍社員の多くが出張で不在のことが多いことから、現オフィスを改修するという形でプロジェクトが動き出しました。

毎回新鮮な気持ちで出社できるように

「普段オフィス外で業務するメンバーがオフィスの中でやることって社員同士のコミュニケーションだね。」という考えのもと、「Crossing Place〜掛け算するための場所〜」というコンセプトを掲げて改修を行いました。具体的には偶発的なコミュニケーションが図れるように社員の動線に工夫を施したり、フリーアドレス導入により生まれたスペースをコミュニケーションの取りやすい空間にしたりしています。改修後は社員からは「毎回新鮮な気持ちでオフィスに出社できる」という声や、業務内容に合わせて仕事をする場所を選べるようになったことなど、ポジティブな意見が多く出ています。



1



2

1 空間の中心に開けた共同スペースを設けました。コミュニケーションの場所としてはもちろん、共同スペースも席として使用して良いため、臨機応変に活用できます。
2 ソファブースは主にチームミーティングなどに利用しています。

事例についてさらに詳しくはこちらから
ご覧いただけます



お客さまの声

村田機械株式会社 東京総務グループ
板倉 萌子 様



在籍社員が増えている中で共同スペースをどうやって実現できるかが課題でした。デスク席を減らしながらも、共同スペースも席としてカウントすることで、全員出社しても皆が座れるということを社内で共有しスペースを捻出しました。最近では健康診断があった日に初めてフリーアドレス席が満席になりましたが、打ち合わせスペースやソファブースを効果的に活用し、問題なく利用しています。フリーアドレスが活きるのこれからと思っています。

デザイナーコメント

アイリスチトセ株式会社 Work Space Design
佐藤 文仁



「Crossing Place 〜掛け算するための場所〜」というコンセプトで、部署間の隔たりを解消するクロスオーバー型のコミュニケーション空間を目指しました。デザイン的にはコーポレートカラーのブルー・創業当初の繊維機械を想起させるモチーフを用いることで、村田機械様のアイデンティティの視覚化を意識しています。

[2013年開設]

大阪R&Dセンター 大阪府大阪市

経験豊富な技術者たちの活躍の場として開設

2013年に家電の開発拠点として開設した「大阪R&Dセンター」。2012年頃、国内の家電メーカーは海外メーカーに押されて大苦戦をしていました。優秀な技術者の失業や海外流出が社会問題となっていたため、当社が家電事業に取り組むことで、技術者たちの雇用・活躍の場を創出できれば社会貢献になると考えました。しかし他の家電メーカーの開発拠点の多くは関西。当社のある宮城県に転居することをためらう方も多くいたため、「人がいるところに拠点を作ろう」と大阪・心斎橋に「大阪R&Dセンター」を設けました。

現在は当社の主力事業に成長した家電事業を支える拠点として約80名*の技術者たちが在籍しており、クリーナーやサーキュレーターなどのさまざまな製品を開発しています。

*2022年1月時点



大阪R&Dセンター

大阪府大阪市中央区東心斎橋1-20-16
アイリス心斎橋ビル

大阪メトロ御堂筋線 心斎橋駅2番出口直結
のクリスタ長堀「南7番出口」を出てすぐ

Present

充電式サイクロンスティッククリーナー

軽快、
パワフル。

充電スタンド&静電モップ
&アタッチメント2種付属。



CYCLONE
CLEANER

充電式サイクロンスティッククリーナー

当社サイクロン史上
最軽量*1 1.4kg

持ち運びやすくどんな場所でも
軽々キレイに。

本体質量
*2 0.9kg

*1 当社サイクロンスティッククリーナーにおいて、SCD-130と比較。
2021年3月現在。標準質量は本体・ヘッド・延長パイプの合計
質量です。モップ、モップ充電ケースは含みません。

*2 本体質量は本体のみの質量です。

自走式「軽量」
パワーヘッド

当社比最小サイズ・
最軽量*3。
小回りもきくので
家中どこでも掃除
がしやすい。

*3 当社パワーヘッドにおいて

320g



高性能バッテリーで
最大40分*4稼働

DCブラシレスモーターと
リチウムイオンバッテリー
採用。

*4 セーブモードにて
運転。バッテリーの状態
など使用条件によって
異なります。



アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼント！

充電式サイクロンスティッククリーナー
(SCD-120P-W)

抽選で
3名様に
プレゼント

応募はこちらから

応募の締め切りは 2022年3月31日(木)です。
<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/ledinformation23/enquete/>
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



アイリスオーヤマ株式会社 B to B 事業グループ

〒105-0013 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー19F

建設業許可番号:国土交通大臣 許可 建築工事業(特-2) 第24732号

電気工事業・内装仕上工事業(般-2) 第24732号

届出電気通信事業者 I-02-00944

●製品の色は印刷のため実際の色とは異なる場合があります。

●製品の仕様・発売日は予告なく変更することがあります。

本誌に掲載の写真・文章・イラストの無断転載はご遠慮ください。

本誌掲載内容、製品のお問い合わせは

TEL 03-5843-7747

本誌掲載の詳しい内容は当社ホームページでご覧いただけます。

アイリス LED 法人

検索



ビジネスの旬な情報や納入事例をお届けしています

アイリスオーヤマ B to B 事業グループ で検索!

